

第18回 教育研究評議会 議事要録

日時 平成18年6月2日(金)13:00~15:10
場所 事務局会議室(5階)
出席者 相良学長、川口理事(総務担当)、井上理事(研究担当)、河本理事(財務担当)、
倉本理事(医療担当)、櫻井副学長、橋本副学長、池田副学長、吉倉副学長、受田
副学長、根小田人文学部長、藤田教育学部長、川村理学部長、橋本医学部長、
高橋黒潮圏海洋科学研究科長、菅野センター連合教授会議長、辻田共通教育主管、
小澤評議員、蒲生評議員、鈴木評議員、川合評議員
陪席 益田監事

〔配付資料〕

- 資料 1 高知大学と海洋研究開発機構で共同運営する高知大学海洋コア総合研究センターへの共通名称(愛称)付与
- 資料 2 - 1 高知大学成果有体物取扱規則等の制定について
- 資料 2 - 2 高知大学特別成果有体物管理規則概念図
- 資料 2 - 3 高知大学特別成果有体物管理規則(案)
- 資料 2 - 4 高知大学成果有体物取扱概念図
- 資料 2 - 5 高知大学成果有体物取扱規則(案)
- 資料 3 設置計画の概要(理学部及び農学部)
- 資料 4 高知大学大学院改組計画の概要
- 資料 5 - 1 平成17年度外部資金関係資料
- 資料 5 - 2 平成18年度科学研究費補助金交付内定関係資料
- 資料 6 新聞記事抜粋(医学部寄附講座関連)
- 資料 7 平成17年度発明届の処理状況
- 資料 8 - 1 会議次第(中国・四国地区国立大学長会議ほか)
- 資料 8 - 2 国立大学協会 第1回大学評価委員会(配付資料)

議事に先立ち、学長から、4月1日付けで文部科学大臣より発令の益田監事の紹介が行われ、同氏より就任挨拶が行なわれた。

続いて、前回議事要録(案)の確認が行われ、異議なく了承された。

〔議題〕

1. 高知大学海洋コア総合研究センター施設への共通名称(愛称)付与について

渡邊海洋コア総合研究センター長から、資料1に基づき、本学及び海洋研究開発機構で共同運営を行なっている海洋コア総合研究センター施設への共通名称(愛称)付与の経緯、必要性等について説明が行われた。

また、今後の対応として、共通名称は「高知コアセンター(英語表記:Kochi Core Center)」とすること。本件に関し、高知大学海洋コア総合研究センター及び海洋研究開発機構高知コア研究所との間で合意・署名を行なうことが提案され、審議の結果、承認された。

2. 高知大学成果有体物取扱規則等の制定について

井上理事から、資料2-1に基づき、成果有体物の定義並びに規則制定の趣旨と経緯につ

いて説明が行われた。引き続き、受田副学長（国際・地域連携担当）から資料2 - 1 ~ 2 - 5に基づき、規則内容等について詳細な説明が行われた。

審議の結果、作製管理者は作製計画申請時のみならず実験開始後においても人体及び環境への影響に十分な予測を講じるとともに、各部局においては作製管理委員会を含めた安全管理体制の周知、徹底を行うことを確認し、承認された。

3．理学部及び農学部の学部改組について

川口理事から、資料3に基づき、理学部及び農学部の改組計画に関するこれまでの文部科学省との相談等の状況について報告が行われ、今後の審査スケジュールについて説明が行われた。

4．高知大学大学院改組の状況等について

川口理事から、6月1日に大学院改組計画に係る文部科学省への説明・相談を行った旨の報告の後、櫻井副学長（総務担当）から、資料3に基づき、文部科学省への説明内容（高知大学大学院改組計画の概要）並びに文部科学省からのコメント等について説明・報告が行われた。

続いて、根小田人文学部長から、昨年12月に各学部長等に対し改組計画への参画の意向調査を行なった目的、組織図案1（1案）をベースに改組計画の具体化を図ることとなった経緯、大学院改組検討委員会において配布された人文学部長名での大学院改組案に関する文書（2006.2.27）の取扱いについて質問が出され、川口理事及び学長から経緯等について説明が行われた。

この中で、学長から、1月27日開催の教育研究評議会における改組への参画に関する発言の意図は、全学部の大同の理解の中で、引き続き、小異・詳論についての議論を積み重ねることにより、役員会決定が意味するものについての理解が得られるのではないかとの考えからであった旨の見解が述べられ、質疑応答の後、改めて、役員会での決定等を踏まえ、全学参画による文理統合型総合大学院への改組の方針が示された。

また、委員より、学長、理事及び学部長等でポリシーメイキング等を行なう場の設置について要望された。

5．平成17年度外部資金受入状況及び平成18年度科学研究費補助金交付内定結果について

井上理事から、資料5 - 1に基づき、平成17年度外部資金の受入状況について、資料5 - 2に基づき、平成18年度科学研究費補助金の交付内定結果について、中国・四国地区他大学との比較を交えて報告が行われた。

6．医学部寄附講座について

橋本医学部長から、資料6に基づき、高知県より計画的な医師確保のための医学部への寄附講座の開設等共同事業の提案を受けたことについて報告が行われた。

併せて、今回の寄附講座の開設に関しては、県側で総務省の承認を得る必要があることから、当分の間、県担当者と河本理事の間で調整を行うこととしている旨の報告が行われた。

7．平成17年度発明届の処理状況について

受田副学長から、資料7に基づき、平成17年度の発明届処理状況について、四国内他大学との比較を交えて報告が行われた。

8 . 会議等報告

- ・平成 18 年度春季中国・四国地区国立大学長会議
- ・第 39 回四国国立大学協議会
- ・国立大学協会 平成 18 年度第 1 回大学評価委員会

学長から、資料 8 - 1 に基づき、5 月 12 日開催の平成 18 年度春季中国・四国地区国立大学長会議の議事概要に関し、大学情報データベースの構築に係るモデル校での試行状況、人件費削減の取組等について、5 月 22 日開催の第 39 回四国国立大学協議会の議事概要に関し、学校教育法改正等に伴う教員組織の在り方についての検討状況について、5 月 17 日開催の国立大学協会平成 18 年度第 1 回大学評価委員会の議事概要に関し、政府方針と文部科学省の考え等について報告が行われた。

この中で、大学評価委員会における文部科学省担当者の説明に関し、資料 8 - 2 に基づき、評価のポイントとして「国立大学法人としての体制の確立」「教育研究の質の向上」が挙げられること、イギリス方式の評価を加味した大学評価・学位授与機構による評価の実施、中期目標期間評価の想定されるスケジュール(平成 20~21 年度の暫定評価の実施)等について報告が行われた。

以 上